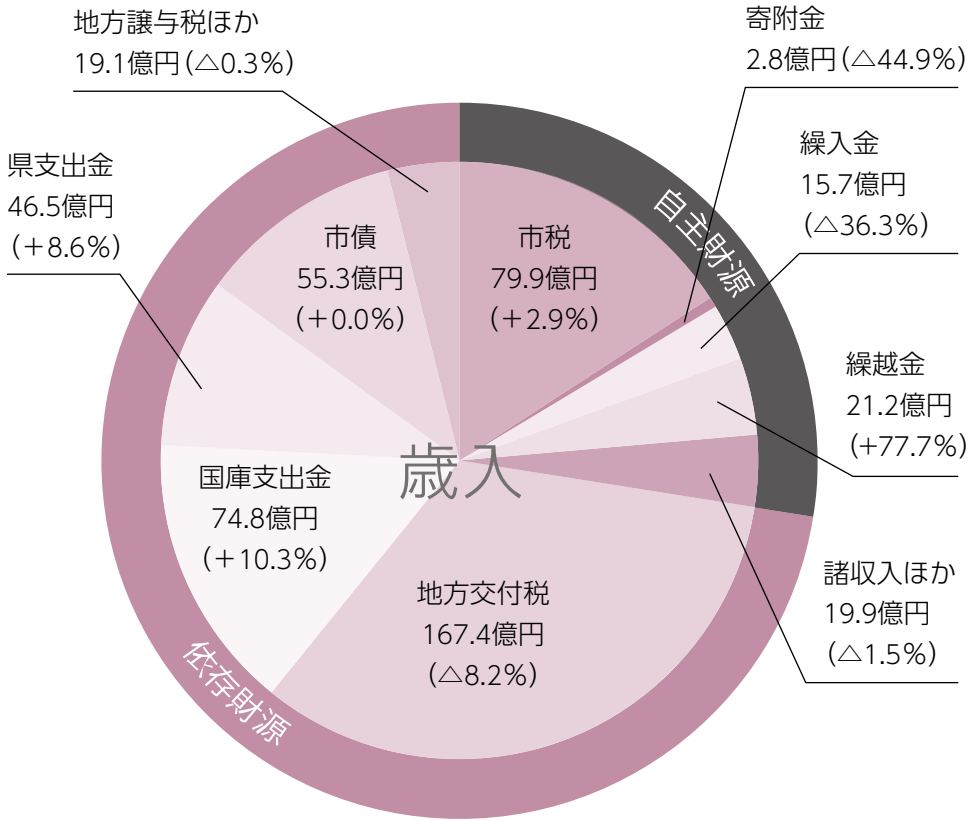


平成31年度 宇和島市の 財政状況



502.6億円

(うち、平成30年7月豪雨災害分:94.5億円)

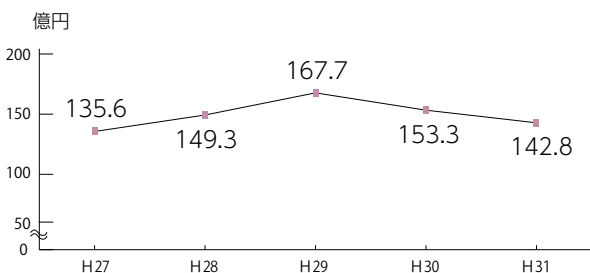
市税などの自主財源は139.5億円(前年比±0.0%)、地方交付税や国県支出金などの依存財源は363.1億円(前年比△1.2%)となり、全体としては502.6億円(前年比△0.9%)となっています。このうち、翌年度に繰越して執行する事業に必要な財源は37.4億円(前年比+184.1%)となっています。

平成31年度の決算状況をお知らせします。
今回の決算(普通会計)では、平成30年7月豪雨災害の影響により、引き続き合併後最大規模の決算額となりました。
今後は人口減少などに伴う市税の減少のほか、合併に伴う普通交付税などの特別措置が終了するため、引き続き堅実な財政運営に努めます。

市の貯金 (基金残高)

市はさまざまな目的のために、資金を積み立てたり運用したりしています。

142.8億円 (△10.5億円)



各会計決算額

(単位：百万円)

会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	50,993	46,660	4,333
特別会計			
国民健康保険(事業勘定)	10,946	10,247	699
国民健康保険(直営診療施設勘定)	179	179	0
後期高齢者医療	2,148	2,109	39
介護保険(保険事業勘定)	10,300	10,194	106
介護保険(介護サービス事業勘定)	34	34	0
財産区管理会	22	17	5
土地取得事業	79	66	13
住宅新築資金等貸付事業	24	226	△202
公共下水道事業	1,683	1,683	0
小規模下水道事業	106	99	7

■用語解説

【普通会計】ほかの地方公共団体との財政比較や統一した把握を容易にするための地方財政統計上の会計区分で、当市の場合は「一般会計」、「土地取得事業・住宅新築資金等貸付事業の各特別会計」を1つにまとめたもの。

【自主財源】市税や使用料・手数料などの市が自ら調達できる財源。「自主財源」の割合が高いほど、自主性と安定性のある予算を組むことができます。

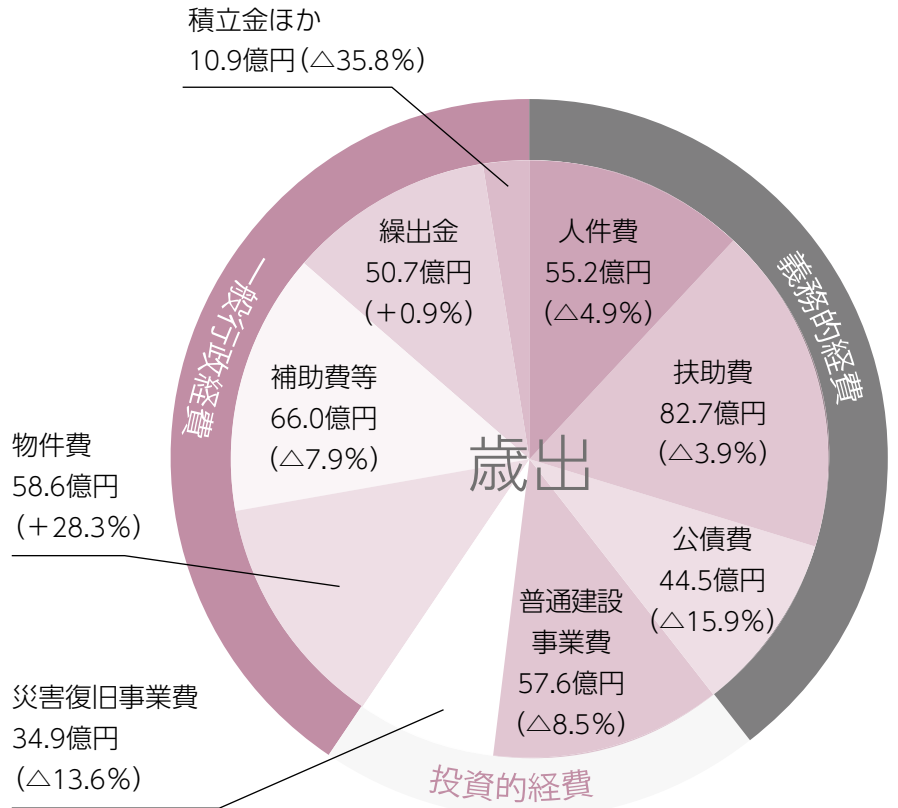
【依存財源】国や県の意思により定められた額で、交付されたり割り当てられたりする財源。

【義務的経費】その支出が義務づけられており自由に節減できない経費。通常は人件費・扶助費・公債費の3つの費目が該当します。

【公債費】市債(市の借金)の返済に充てた経費。

【投資的経費】その支出の効果が資本形成に向けられ、施設など将来に残るものに使われる経費。

【基金】特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てまたは定額の資金を運用するために設けられる資金や財産。



461.1億円

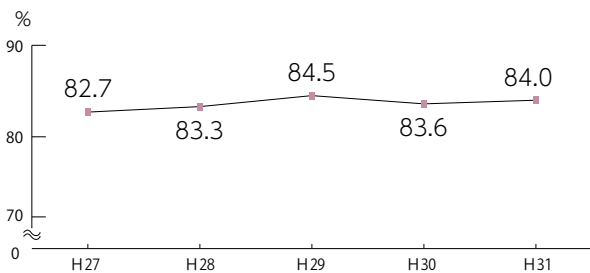
(うち、平成30年7月豪雨災害分:63.6億円)

人件費や公債費などの義務的経費が182.4億円(前年比△7.4%)、投資的経費が92.5億円(前年比△10.5%)、物件費や補助費等などの一般行政経費は186.2億円(前年比+0.4%)となり、全体としては461.1億円(前年比△5.1%)となっています。

■財政の余裕 (経常収支比率)

財政の弾力性を示す指標で、比率が低いほど財政的な余裕があるとされています。

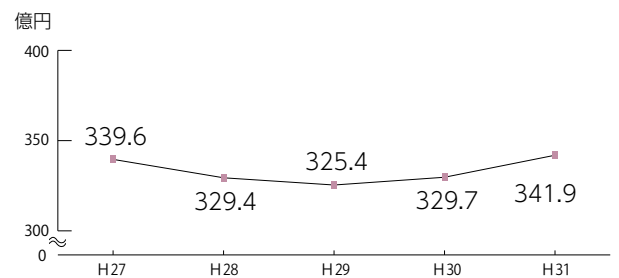
84.0% (+0.4%)



■市の借金 (市債残高)

市が大きな事業をするために必要な財源で、多世代で利用する施設などを公平に負担する役割もあります。

341.9億円 (+12.2億円)



■財政健全化に関する指標

健全化判断比率と資金不足比率は、決算の内容が良い状態なのか、将来に不安はないのかなどを判断する指標であり、比率が低いほど自由度の高い財政運営であるとされています。また、基準を超えた場合は、財政健全化計画などを作成し、改善が義務付けられます。

市の比率は次のとおりで、早期健全化・財政再生の基準を超えるものはありません。

(単位：%)

比率区分	H27	H28	H29	H30	H31 (速報値)	H31早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字	-	-	-	-	-	12.07	20.00
連結実質赤字	-	-	-	-	-	17.07	30.00
実質公債費	6.8	5.6	4.9	4.5	4.0	25.0	35.00
将来負担	-	-	-	-	-	350.0	

【資金不足比率】公営企業ごとに、資金不足額をその企業の事業規模で割った比率(経営健全化基準20.0%)。公営企業会計(水道事業会計ほか4事業会計)について、資金不足はありません。

■用語解説

【実質赤字比率】一般会計など(連結実質赤字比率は全会計)を対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率で、財政運営悪化の度合いを示す指標。

【実質公債費比率】一般会計などで借りた市債の償還金と公営企業などが借りた市債の償還金に対する一般会計負担の合計額の標準財政規模に対する比率で、どれだけが借金返済額に使われているかを示す指標。

【将来負担比率】公営企業なども含め、市が将来負担しなければならない実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、将来財政を圧迫する度合いを示す指標。

【標準財政規模】地方公共団体が通常水準の行政サービスを行う上で、必要とされる一般財源の額。

病院事業

当年度は3病院ともに黒字となりました。大きな要因は前年度で退職手当引当金の分割計上が完了したことにより、特別損失が大幅に減少したことによるものです。

【損益計算書】

(単位：千円)

		宇和島病院		吉田病院		津島病院		合計	
費用の部	医業費用	12,446,028	93.8%	816,130	96.0%	1,174,079	95.6%	14,436,237	94.1%
	医業外費用	734,944	5.5%	31,278	3.7%	38,418	3.1%	804,437	5.2%
	特別損失	85,906	0.7%	2,458	0.3%	15,578	1.3%	103,942	0.7%
	合計	13,266,878		849,866		1,228,075		15,344,616	
収益の部	医業収益	12,484,469	93.3%	760,841	86.9%	1,165,823	88.7%	14,411,133	92.5%
	医業外収益	873,211	6.5%	113,301	13.0%	143,671	11.0%	1,129,980	7.3%
	特別利益	27,305	0.2%	1,061	0.1%	4,357	0.3%	32,723	0.2%
	合計	13,384,985		875,203		1,313,851		15,573,836	
当年度純利益		118,107		25,337		85,776		229,220	

※病院事業内での取引を相殺調整しているため、合計とは合致しません。

【貸借対照表】

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部		
有形固定資産	14,330,787	負債の部	固定負債	15,506,394
無形固定資産	8,605		流動負債	3,666,394
投資その他の資産	866,238		繰延収益	809,573
流動資産	10,959,956		負債合計	19,982,361
資産合計	26,165,586	資本の部	資本金	12,608,604
			剰余金	△6,425,379
			資本合計	6,183,225
		負債・資本合計		26,165,586

【患者利用状況】

(単位：人)

病院名	入院患者延数	外来患者延数	病床利用率
宇和島病院	145,542 (398)	233,518 (973)	91.4%
吉田病院	25,082 (69)	28,074 (117)	49.9%
津島病院	30,226 (83)	35,255 (140)	65.9%
合計	200,850 (550)	296,847 (1,230)	-

▶患者数のカッコ内は1日あたりの患者数です。

介護老人保健 施設事業

病院事業と同様、特別損失での退職手当引当金分割計上は完了したものの、慢性的な収支不足により赤字となっております。

【損益計算書】

(単位：千円)

		オレンジ荘		ふれあい荘		合 計	
費用の部	施設事業費用	342,395	97.5%	331,894	96.2%	674,289	96.9%
	施設事業外費用	8,694	2.5%	12,933	3.8%	21,627	3.1%
	特別損失	35	0.0%	79	0.0%	114	0.0%
	合 計	351,124		344,906		696,030	
収益の部	施設事業収益	340,070	98.3%	292,547	97.5%	632,617	97.9%
	施設事業外収益	5,707	1.7%	7,613	2.5%	13,320	2.1%
	特別利益	0	0.0%	59	0.0%	59	0.0%
	合 計	345,777		300,219		645,996	
当年度純損失		5,347		44,687		50,034	

【貸借対照表】

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部		
有形固定資産	932,746	負債の部	固定負債	560,173
無形固定資産	700		流動負債	172,456
投資そのほかの資産	126,307		繰延収益	128,169
流動資産	173,327		負債合計	860,798
資産合計	1,233,080	資本の部	資本金	1,084,551
			剰余金	△712,269
			資本合計	372,282
		負債・資本合計		1,233,080

【施設利用状況】

(単位：人)

		オレンジ荘	ふれあい荘	合 計
入所者	延 数	26,118	21,291	47,409
	1日平均	71.4	58.2	129.6
	利用率	95.2%	97.0%	96.0%
通所者	延 数	3,786	3,638	7,424
	1日平均	15.5	14.8	30.3
	利用率	77.5%	74.0%	75.8%

水道事業

当年度純利益は前年度比で約1億円の増益となりました。大きな要因は、前年度と比較して給水収益が増加し、災害関連費用が減少したことによるものです。

【損益計算書】

(単位：千円)

費用の部	営業費用	2,151,871	96.7%
	営業外費用	72,969	3.3%
	特別損失	272	0.0%
	合 計	2,225,112	
収益の部	営業収益	2,327,794	90.7%
	営業外収益	228,407	8.9%
	特別利益	9,587	0.4%
	合 計	2,565,788	
当年度純利益		340,676	

【貸借対照表】

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部		
有形固定資産	13,040,403	負債の部	固定負債	4,238,087
無形固定資産	290,632		流動負債	642,013
流動資産	2,846,928		繰延収益	2,322,232
資産合計	16,177,963		負債合計	7,202,332
		資本の部	資本金	6,431,657
			剰余金	2,543,974
			資本合計	8,975,631
		負債・資本合計		16,177,963

【地区別配水量】

(単位：m³)

地区名	年間配水量	1日平均配水量
宇和島	7,180,669	19,619
吉 田	1,006,864	2,751
三 間	627,006	1,713
津 島	1,578,470	4,313
合 計	10,393,009	28,396

※病院・水道・介護老人保健施設事業の損益計算書は平成31年度の1年間、貸借対照表は令和2年3月31日現在の数値です。なお、様式については地方公営企業法施行規則に沿った独自様式です。